

伊藤伸一さんに箱詰めされるネズミの置物＝三輪明神窯史跡園



師走が近づき、2020年の干支「ネズミ」をかたどった三田青磁の置物が三輪明神窯史跡園（三田市三輪）で販売されている。陶芸家の伊藤伸一さん（56）は下相野Ⅱが5月から作業に取り組み、つややかな緑色に仕上げた。三田青磁は同市の特産物で、干支の置物は毎年完売する人気商品。素焼き後、釉薬を2度重ねて焼き上げる。大サイズ（高さ16・5

来年の干支

# ネズミかたどりの三田青磁の置物

三輪明神窯史跡園で販売

（珍）は、米俵に乗った七福神の一人・大黒さまと「お遣い」とされるネズミをあ

しらった。小サイズ（同13・5）はネズミが小づちの横で小判を持つ。各50個ずつ用意した。ネズミは害虫のイメージがある一方で、強い繁殖力から子孫繁栄や商売繁盛、豊作の象徴にもなっている。伊藤さんは「めでたいデザインなので、玄関に飾って福を招き入れてもらいたい」と話す。大2750円、小1650円。同園（月曜休み）のほか、パスカルさんだ一番館（川除）、三田ふるさと学習館（屋敷町）でも販売している。同園☎079・563・8211（山脇未菜美）

① 次の語句の読み方を調べて書きましょう。

㊦ 師走 [ ]

㊦ 青磁 [ ]

㊦ 置物 [ ]

㊦ 素焼き [ ]

㊦ 米俵 [ ]

みわみょうじんがましせきえん  
② 三輪明神窯史跡園で販売されている三田青磁の来年の干支「ネズミ」の置物はどんな色ですか。

[ ]

③ 小さいサイズの置物のネズミが持っているものは何ですか。

[ ]

④ ネズミは悪いイメージがある一方で良いことの象徴にもなっていると言っています。それを記事の中から3つ書き出しましょう。

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--

しょうちょう 象徴